障がいの有無に関わらず、様々な人の体験活動の充実を図る

ネイパル厚岸

ネイパルオータムフェスティバル

1　事業のねらい

秋にちなんだ様々な体験活動やユニバーサルスポーツを通して、障がいの有無に関わらず様々な人にネイパル厚岸の魅力を広め、施設の利用促進と地域における体験活動の充実を図る。

2　事業の概要

■期日　R6.11.9(土)　日帰り
■対象　全ての人
■人数　468 名
■場所　ネイパル厚岸
■協力　厚岸本の森情報館、サン・アビリティーズくしろ、北海道立図書館

3　プログラム

	10:00		14:30
11/ 9（土）	開始	ネイパルオータムフェスティバル（入退場自由）	終了

【活動内容】

体験コーナー	グルメコーナー	自然コーナー
ゴールボール、ボッチャ、モルック、カーリンコン、火起こし、巨大迷路昔遊び、ユニバーサル図書	野焼きパン、焼きマシュマロ、トルティーチップス、山ぶどうジュース、ネイパルカレー	金のまつぼっくり探し、落ち葉アート、落ち葉プール、秋のクイズラリー

4　ねらいを達成するための活動の工夫

■ネイパル厚岸の魅力を感じられるプログラム
・火起こし体験や野焼きパンなど既存アクテビティに加え、施設周辺で採集した落ち葉や木の実を使った活動を体験することでネイパル厚岸や周辺地域の自然の魅力を感じられるよう工夫した。
■だれもが一緒に楽しめる体験プログラム
・「ゴールボール」や「ボッチャ」などのユニバーサルスポーツの実施や、読みやすいフォント、点字などが施されたユニバーサル図書のコーナーなど、年齢や性別、障がいの有無に関わらず様々な人が体験を楽しむことができる場とした。

秋ならではの自然体験

ユニバーサルスポーツを通した交流

5　事業の評価

■参加者の感想
・自分で焼いたマシュマロとパンは絶品でした。
・トルティーヤが何にでも合ってびっくりしました。
・ゴールボールを初めてやったけど楽しかった。
■ユニバーサルスポーツの体験者数
・ゴールボール：約 50 名
・ボッチャ、モルック、カーリンコン：約 100 名
・小中学生同士だけでなく、家族や放課後等デイサービスの方々など様々な人たちが楽しむことができた。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●事業名を「オータムフェスティバル」とすることで障がいの有無に関わらず様々な人たちが集まり、秋ならではの活動やユニバーサルスポーツで交流することができた。
○外の活動など参加者がまばらな場所があったので、活動の魅力を伝える場の設定が必要だったと考える。

企画のポイント

秋ならではの体験活動やユニバーサルスポーツを通して、様々な人たちが交流できる場面の設定